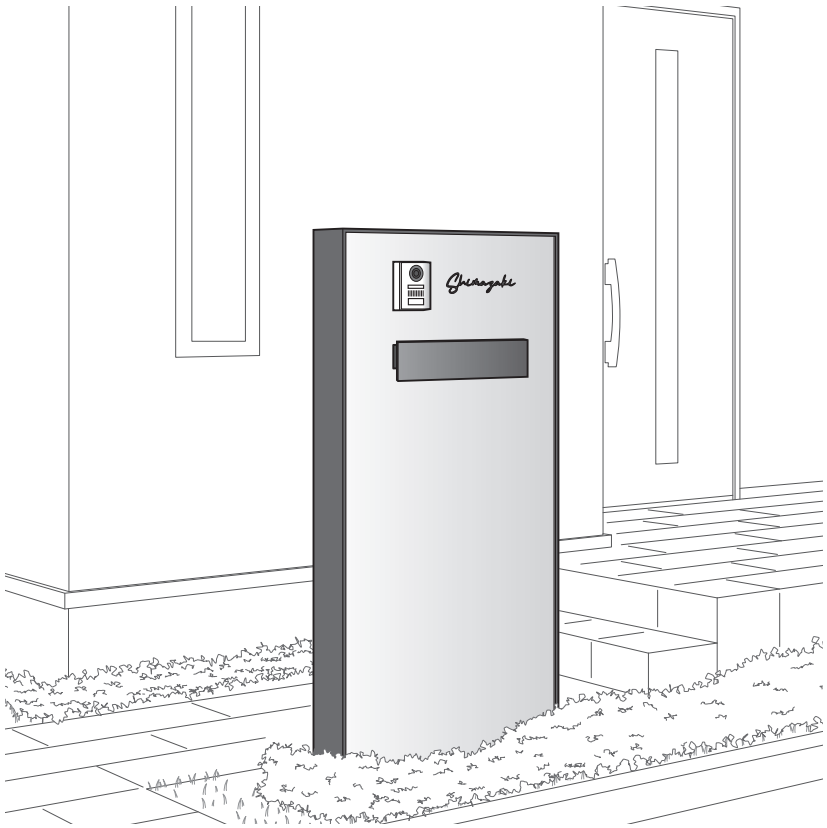
LIXIL

取扱説明書

エクスポストKN



この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

⚠警 告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

⚠注 意

取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

行なってはいけない内容です。

必ず実行していただく内容です。

お願い　取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。

もくじ

	ページ
各部の名称・お手入れ	1
使用上のご注意	2
使い方（前入れ後取出し仕様）	3
使い方（前入れ前取出し仕様）	6
安全上のご注意	8
故障かな!?と思ったら	9
修理と保証	10
保証書	11

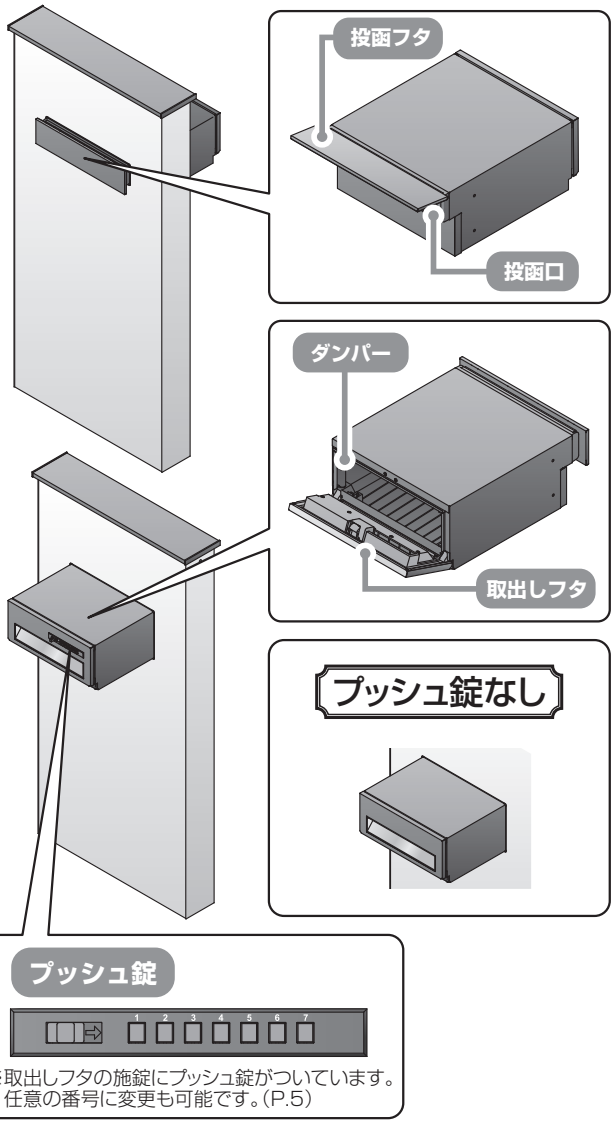
保証書付き

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。
保証書は「お引き渡し日、販売店名」などの記入を必ず確かめてください。

各部の名称

●前入れ後取出し仕様

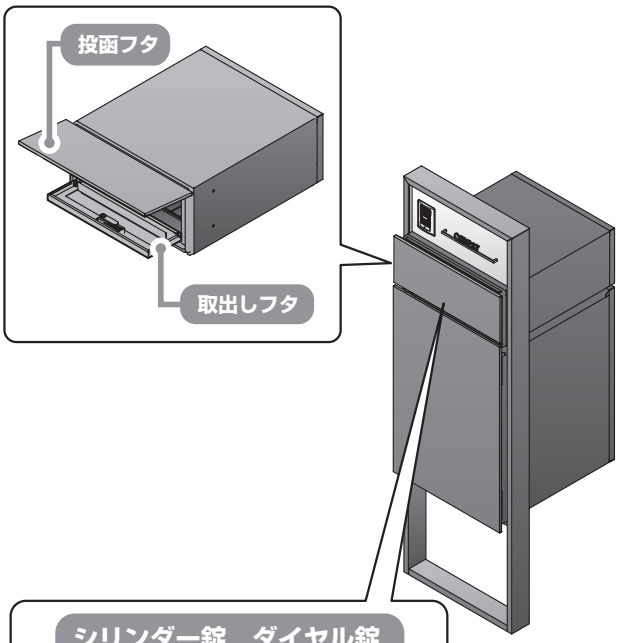
※図は機能門柱FKポストのみ仕様に取付けた場合をあらわします。

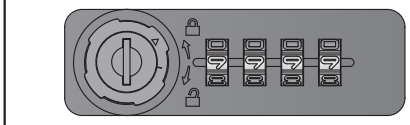


※取出しフタの施錠にプッシュ錠がついています。
任意の番号に変更も可能です。(P.5)

●前入れ前取出し仕様

※図は機能門柱FFに取付けた場合をあらわします。





※取出しフタの施錠にシリンダー錠とダイヤル錠がついています。
任意の番号に変更も可能です。(P.4)

お手入れ

お掃除回数：年に2〜3回

お願い

・シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。塗料がはげたりすることがあります。
・ホースによる直接の散水は行わないでください。各機能に障害が生じる原因になります。
・固いものでこすったり、みがいたりしないでください。キズがつきます。



●汚れが軽い場合は…
水拭き→乾拭き
●汚れがひどい場合は…
薄めた中性洗剤を使用し、
汚れを落とす→
洗剤が残らないように水洗い→
乾拭き



【キズが付いた場合】

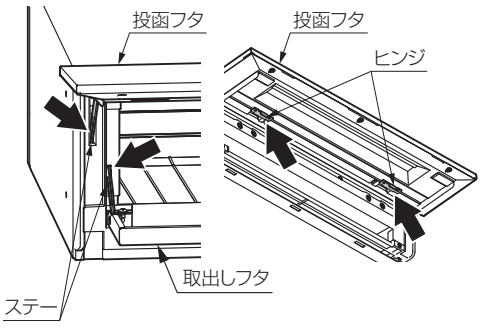
●あやまってキズをつけた場合、補修塗料で補修してください。放置すると腐食の原因になります。

注油

【ステー、ヒンジ：開閉時に異音がしたとき】

●ステー、ヒンジ部分にシリコンスプレーをさす

前入れ前取出し仕様　　共通

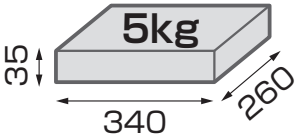


使用上のご注意

ご使用上の注意

●前入れ前取出し/前入れ後取出し仕様　共通
・本製品は郵便物や新聞などを受け入れるものです。その他の目的に使用しないでください。
・投函物の受渡しについて、弊社は責任を負いかねます。
・投函口にむやみに棒などを差込まないでください。本製品が故障する原因になります。
・下記受取り可能サイズを必ず守ってください。許容を越えるサイズの荷物を投函した場合、取出しフタの解錠が出来なくなります。

朝刊6日分
回覧板 縦335mm、横240mm、厚み最大12mm
大型郵便物 縦340mm、横260mm、厚み35mm
※メール便最大サイズが投函可能です。
※宅配物の投函はできません。



（単位:mm）

・投函フタはマグネットで仮保持されておりますが、強風時には開くことがあります。
・医療用ペースメーカーをお使いの方が本製品をご使用される場合は、医療用ペースメーカーの取扱説明書および、担当医師の指示に従ってください。
・本製品にはマグネットが使われており、医療用ペースメーカーに影響を及ぼすおそれがあります。医療機器の近くでの設置や使用もしないでください。
・本製品は防水仕様ではありません。ホースや高圧洗浄機などによる直接の散水はしないでください。
・設置場所、条件によっては可動部が凍結することがあります。破損するおそれがあるので、無理に動かしたりせず、市販の解氷スプレーなどで溶かしてから使用してください。

●前入れ前取出し仕様
・鍵は大切に保管ください。

●前入れ後取出し仕様
・取出しフタにはダンパーが取付いておりますので、気温が低い時には開閉動作が遅くなる場合があります。

扱いかた

お願い

●前入れ前取出し/前入れ後取出し仕様　共通
・投函物の受け取りは一度に一回の配達分となるため、早めに投函物を取り出すことをおすすめします。
・風雨の強いときは、雨水が入り投函物を濡らすことがあります。早めに投函物を取出してください。（本製品は雨水が入らない防水構造ではありません）
・雨により、本体天面に水が溜まることがあります。ご利用時は水にぬれないようご注意ください。
・下記のような環境下においては本製品に錆や塗装剥離が発生することがあります。
　異種金属が付着するような環境（工場地帯や鉄粉が舞う工事現場など）
　塩分が付着するような環境（海岸地帯など）
・製品に関する移設、増設などは、お買い求めの工務店・販売店にご相談ください。
・薬品、農薬などの中には、プラスチックに付着すると劣化やひび割れを生じさせるものがあります。付着した場合はきれいに拭き取ってください。
・投函フタ、取出しフタを無理やり開こうとしたり、開時に衝撃を与えないでください。破損の原因になります。
・本商品の可動部は特性上作動音が発生する場合があります。シリコンスプレーをさすなどのメンテナンスを行ってください。

●前入れ後取出し仕様
・取出しフタにはダンパーが取付いておりますので、投函物を取出す際は、取出しフタを静かに開閉してください。破損の原因になります。
・ダンパーが異音またはスムーズに動かない場合、潤滑剤をダンパー部に注入してください。油や粘度のある潤滑剤は、ホコリを吸着し、かえって動きを悪くしますので使用しないでください。

使い方（前入れ後取出し仕様）

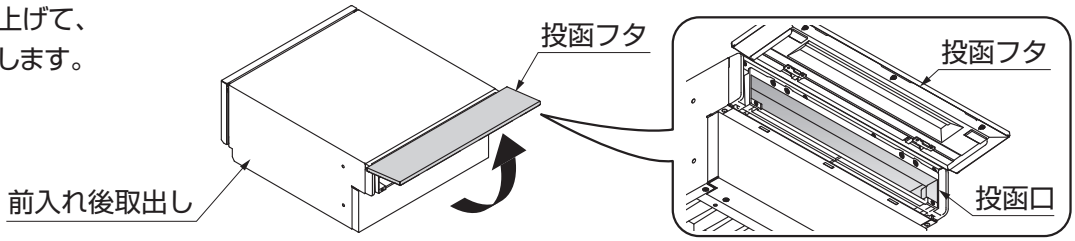
⚠注 意

・郵便物を取り出す際は、フタに頭などをぶつけないようご注意ください。
・開いたフタは保持開放後自然に閉じますのでご注意ください。手や指をはさむおそれがあります。
・フタはなるべく手で支えてお使いください。風の強い日にはまれにフタが保持できず手や指をはさむおそれがあります。

お願い
・フタを限界以上に開くと変形してしまいますのでご注意ください。
・郵便物を取り出す際に取出しフタと投函フタに荷重がかからないよう注意してください。破損の原因になります。

受け取り　投函フタの開閉方法

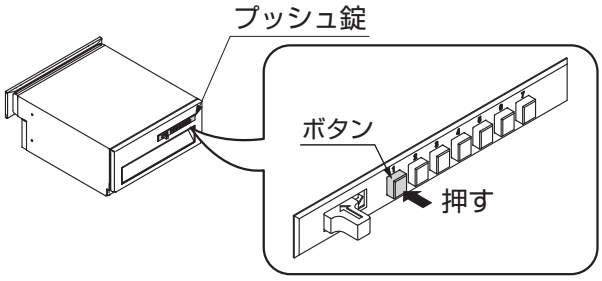
①投函フタを持ち上げて、
投函口から投入します。



取り出し　取出しフタの開閉方法

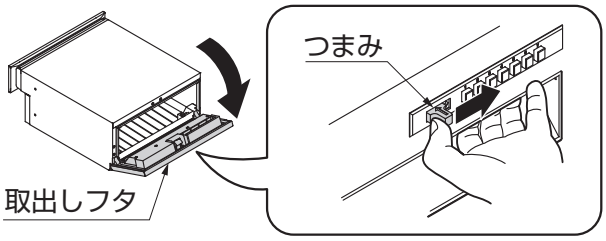
錠あり仕様

①プッシュ錠で設定した番号のボタンを押します。

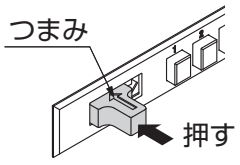


補 足
初期状態は、プッシュ錠の番号を設定していませんので番号を押さない状態で解錠します。

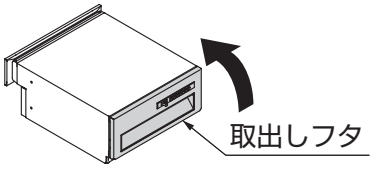
②プッシュ錠のつまみを横にスライドしながら、取出しフタを手前に引きます。



補 足
プッシュ錠の番号を間違えて押してしまった場合は、つまみを押し込みリセットしてください。



③投函物を取り出し、取出しフタを静かに閉めます。

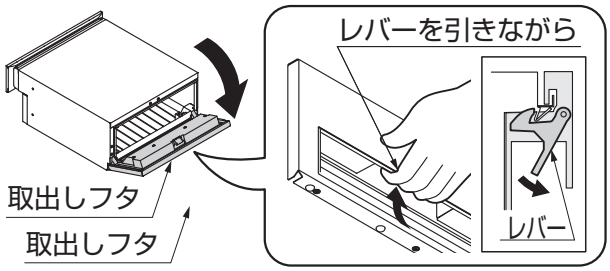


お願い
●2段階ラッチ仕様になっておりますので、最後までしっかりと押し込んで閉めてください。押し込まない場合でも取出しフタは閉まった状態になりますが、風で開いてしまったり、雨水が侵入する場合があります。
●雨の日は使用後すみやかにフタを閉めてください。取出しフタの表面を伝わりエクスポストKN内部に雨水が浸入する場合があります。

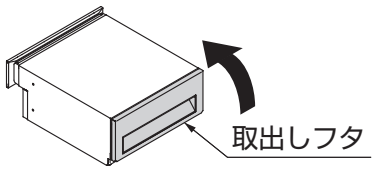
取り出し　取出しフタの開閉方法

錠なし仕様

①取出しフタ持ち手部分のレバーを引きながら、取出しフタを手前に引きます。



②投函物を取り出し、取出しフタを静かに閉めます。



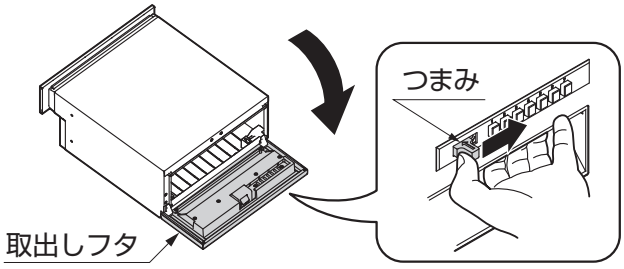
お願い
●雨の日は使用後すみやかにフタを閉めてください。取出しフタの表面を伝わりエクスポストKN内部に雨水が浸入する場合があります。

◀解錠番号設定の
ガイド動画はこちら

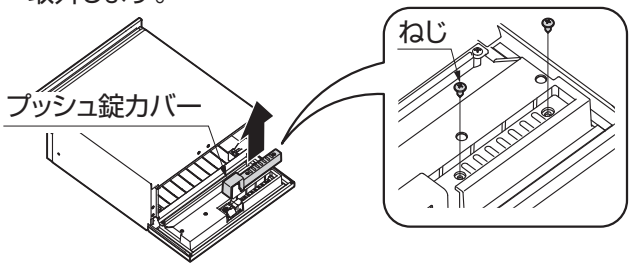
設定手順を動画でもご確認いただけます。
（通信料はお客様のご負担となります）

プッシュ錠の解錠番号設定

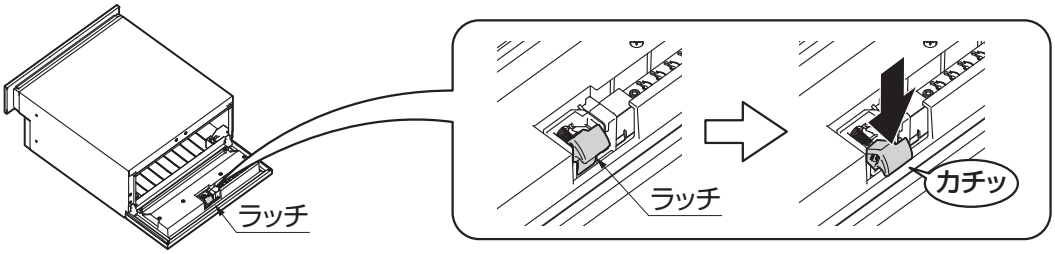
①つまみを右にスライドし取出しフタを開けます。



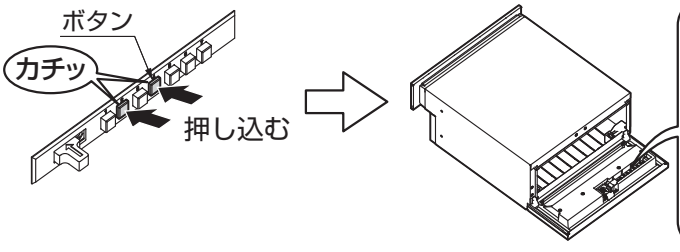
②取付けねじを外し、プッシュ錠カバーを上に持ち上げ取外します。



③ラッチをカチッと音がするまで押し下げます。　*この操作をしないと、解錠番号の設定ができません。



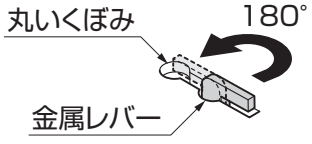
④設定したい番号のボタンをカチッと音がするまで押し込みます。
*番号は、設定なしから7桁すべてまで任意で設定ができます。



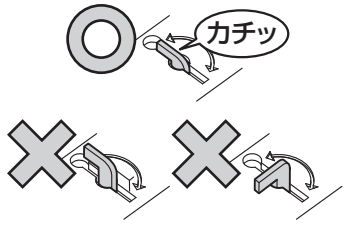


補足　正しく押し込むと裏側の金属レバーが浮き上がります。

⑤浮き上がった金属レバーを反時計回りに180度回転させます。
*レバーを丸いくぼみにはめることで、番号設定となります。



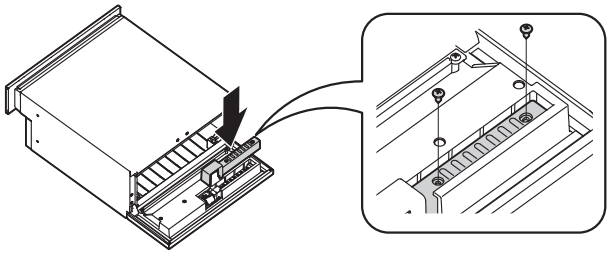
お願い
- ●反対側の丸いくぼみにカチッと音がするまではめてください。
- ●以下の状態では正しく動作しません。
  - ・180度回っていない
  - ・溝から浮き上がっている



補足
- ●設定した番号は表内の数字に丸を付けて保存してください。
- ●番号は、設定なしから7桁すべてまで任意で設定ができます。
- ●設定した番号は押す順番に関係なく解錠可能です。

日付	番号						
/	1	2	3	4	5	6	7
/	1	2	3	4	5	6	7
/	1	2	3	4	5	6	7

⑥プッシュ錠カバーをかぶせて、取付けねじで取付け、完了します。

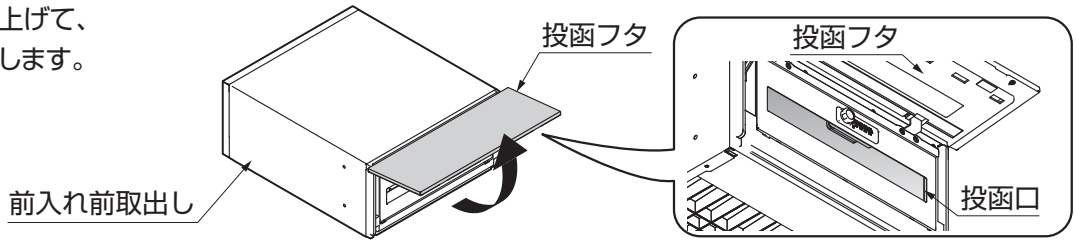


補足　●しっかりとねじが締め付けられているか確認してください。ねじが緩んでいるとボタンが押せなくなります。

使い方（前入れ前取出し仕様）

受け取り　投函フタの開閉方法

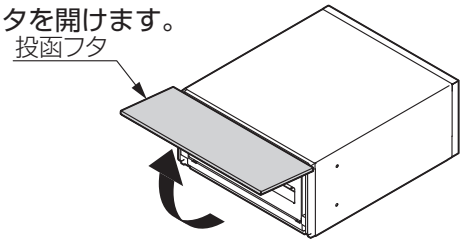
①投函フタを持ち上げて、
投函口から投入します。



取り出し　取出しフタの開閉方法

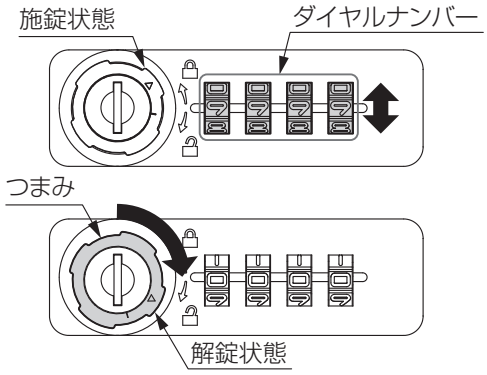
ダイヤル錠で開ける場合

①投函フタを開けます。

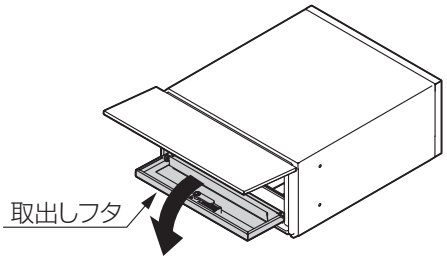


②ダイヤル錠で設定した数字に合わせ、つまみを横に回します。

補 足　ダイヤル錠は出荷時「0000」に設定されています。

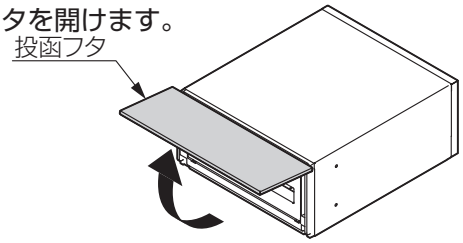


③取出しフタを手前に引いて、取出します。

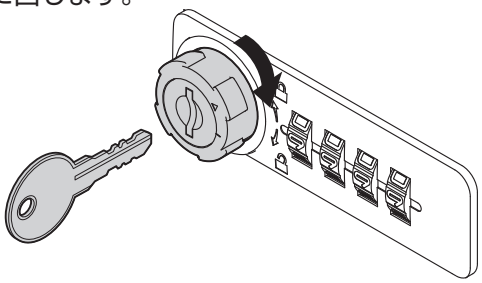


シリンダー錠で開ける場合

①投函フタを開けます。

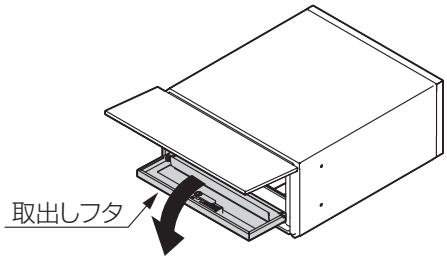


②取出しフタのシリンダー錠にキーを差し込んで、横に回します。

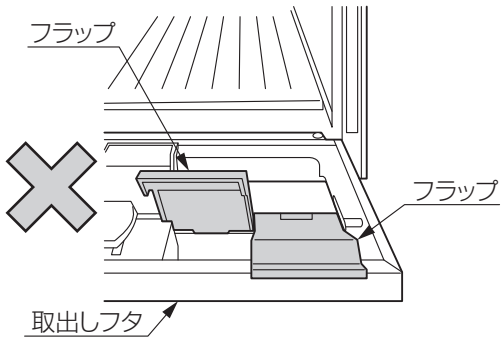


補 足　キーを使用する場合、ダイヤル錠は設定した番号以外で解錠するようにしてください。
設定した番号でもキーで解錠しますが、ツマミも回ってしまいます。

③取出しフタを手前に引いて、取出します。

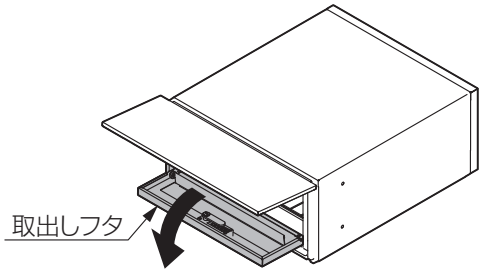


お願い
- 雨の日は使用後すみやかにフタを閉めてください。取出しフタの表面を伝わりエクスポストKN内部に雨水が浸入する場合があります。
- 使用後は投函フタを閉めて、必ず施錠してください。雨水が浸入する場合があります。
- 取出しフタを閉める際にフラップが下がっていることを確認して閉じてください。フラップが上がった状態で閉じると破損する場合があります。



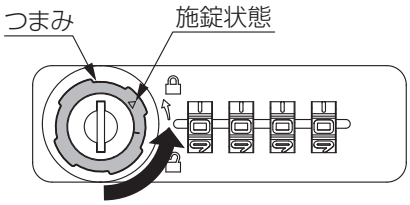
ダイヤル錠の解錠番号設定

①P.5「取り出し 取出しフタの開閉方法変更 ダイヤル錠で開ける場合」を参照して取出しフタを開けます。



補 足 ・暗証番号の初期設定は「0000」です。

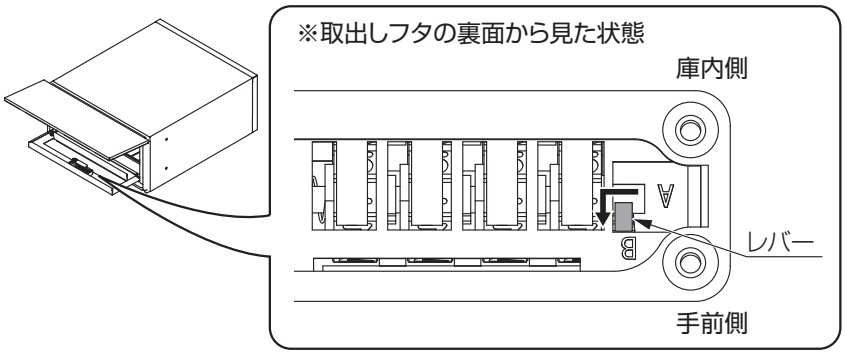
②錠は解錠状態からつまみを回し(反時計回り)施錠状態にします。



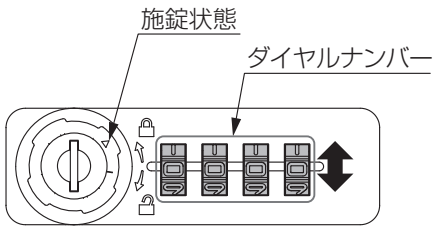
補 足 ・キーを使用し施錠状態にしないでください。

③ダイヤル錠裏側のレバーの位置をBにします。

補 足 暗証番号を間違えている場合はレバーが動きません。



④新しい暗証番号に合わせます。

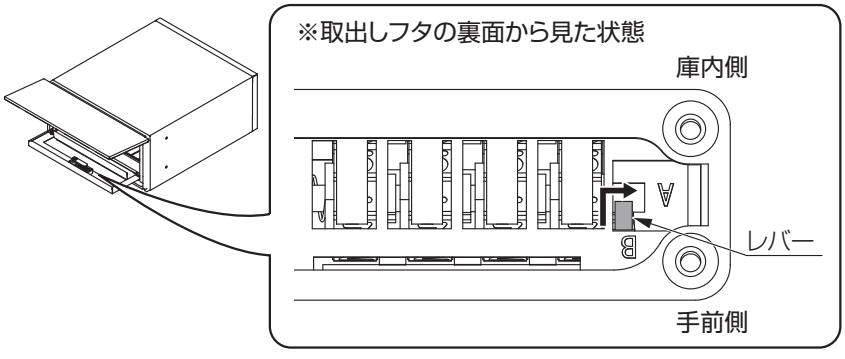


お願い ・設定した暗証番号は、忘れないようにメモをしてください。

日 付	番 号			
/				
/				
/				

⑤レバーの位置をAに戻し、完了します。

お願い 必ずAの位置に戻っていることを確認してください。戻し忘れた場合はどの番号でも解錠になってしまいます。



安全上のご注意

⚠警 告

禁 止

●火気を近づけない！
火災・故障のおそれがあります。

⚠注 意

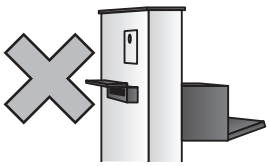
禁 止

●ぶら下がり、物の吊下げ禁止！
落下して、ケガをするおそれがあります。



●本体の上に乗ったり、物を載せない！
ケガをするおそれや、本体が破損する原因になります。

●分解・改造、禁止！
落下などによるケガのおそれがあります。



●フタを開けっぱなしにしない！
故障やケガをするおそれがあります。

●手指のはさみ込み注意！
フタを操作する際は、手や指をはさまないように注意してください。ケガをするおそれがあります。



●服のひっかかりに注意！
取り出し時に取出しフタに引っ掛かり服が破けることがあります。

●衝突注意！
エクスポストKNはポールや壁から飛び出した構造です。
頭や体をぶつけてケガをしないように注意してください。



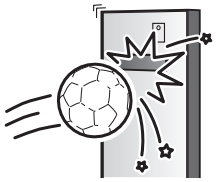
●エクスポストKN周辺を走らない！
エクスポストKNにぶつかりケガをするおそれがあります。

●ヤケド注意！
太陽光により、製品表面が高温になる場合がありますので、製品に触れる際はご注意ください。



お願い

●衝撃禁止！
ボールをぶつけるなど、強い衝撃を加えないでください。
故障の原因になります。



故障かな!?と思ったら

●困ったとき、故障かなと思われたとき、修理を依頼する前にお調べください。
●直らなかったときは、修理を依頼ください。

	こんなとき	ここを確認してください	処置
前入れ前取出し/ 前入れ後取出し仕様共通	ポストの取出しフタが開かない／閉まらない	錠のロックがかかっていませんか?	錠の番号を合わせ解錠してください。
		取出しフタが変形していませんか？	部品交換が必要です。
前入れ後取出し仕様のみ	プッシュ錠のボタンが押せない	番号変更後､レバーは丸いくぼみにはまっていますか? プッシュ錠カバーのねじは緩いでいませんか?	P.6「プッシュ錠の解錠番号設定 前入れ後取出し仕様」を確認してください。
前入れ前取出し仕様のみ	ダイヤル錠の番号が変更できない	番号変更後、レバーをAに戻していますか？	P.7「ダイヤル錠の設定方法 前入れ前取出し仕様」を確認してください。
	ダイヤル錠がどの番号でも施解錠できてしまう		

お願い

●ご使用中に異常があれば操作を中止し、工務店様・販売店様または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。
●製品の設置や修理は必ず専門業者に依頼してください。人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

修理と保証

（1）保証書について

●保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
●保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

（2）保証期間

お願い
●保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

施工完了日（お引渡し日）▼	1年▼	2年▼
電装部品	無料	有料
電装部品以外	無料	有料

（3）修理について

●製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
●修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご氏名	
製品名		ご住所	
施工日	年　月　日	電話番号	
施工店名		その他	

●消耗品は寿命があり、有償保証となります。

（4）点検および修理料金のしくみ

●修理料金は技術料、部品代、出張料などで構成されています。
・技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換、調整などの作業にかかる費用です。
・部品代は、修理に使用した部品代です。
・出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品、製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

（5）交換用部品について

●お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。
リクシルストア　**https://store.lixil.co.jp/**
掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター 0120-126-001にご連絡ください。

エクスポストKN 保証書

製造No. （商品名シールNo.）		
保証期間	対象部品	期間（お引渡し日より）
	本体	2ヶ年
	但し電装部品	1ヶ年
お引渡し日	年　月　日	
お客様	ご住所	
	お名前　様	
	電話　（　）	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。
※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施工店	住所・店名　印 電話　（　）

株式会社 LIXIL

1. **保証者**
   株式会社LIXIL
2. **保証の対象者**
   当該商品の所有者
3. **対象商品**
   LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品
4. **保証内容**
   取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
5. **保証期間**
   当該商品の施工完了日（お引き渡し日※）から起算して2年間。（電装部品及び木製部品については1年間。ラッピングシートの"浮き"や"はがれ"およびそれに伴う"著しい変色"については5年間。）ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。
   ※注）新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
6. **品質保証の免責事項**
   保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
   ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工（基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など）、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合（海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など）。
   ②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。
   ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。
   ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
   ⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のさくれ、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
   ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象（例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）。
   ⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合（例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など）。
   ⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起きる腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など）。
   ⑨天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
   ⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
   ⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
   ⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取り外し含む）に起因する不具合。
   ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
   ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。
※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is availed only in Japan.）

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。
※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで
https://www.lixil.co.jp/
※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

困った場合の対処（商品二次元バーコード情報）
商品にある二次元バーコードを読み取ると商品情報が閲覧できます。





※商品の特性上二次元バーコードが貼られていない商品もあります。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）
TEL. **0120-126-001**

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）
TEL. **0120-413-433**
https://www.lixil.co.jp/support/

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

取説コード
EXM-138

JZZ638938C
202401_1049
202606C_1049

JZZ638938C